

国立特殊教育総合研究所研究紀要 目次

第23巻（平成8年2月）

（原 著）

- ・自閉症状のある精神遅滞児の刺激等価性の枠組みによる数概念の形成と維持・般化 柘植雅義 1-12
- ・補聴器による聴覚フィードバックと発語明瞭度について 中川辰雄 13-20
- ・保護者の障害認識に対する早期療育の役割 久保山茂樹 21-27
- ・障害児・者の言語獲得への援助に関する理論的枠組の構築 牧野泰美 29-35
- ・障害児学習用コンピュータソフトウェアの情報提示様式の分析 棟方哲弥・中村均・詫間晋平 37-45

（事例報告）

- ・発声・発語表現に拡がりの見られた脳性まひ児の発達過程についての検討 渡邊章 47-53
- ・触地図の活用を促す教育的係わり合いについて -行動空間内の経路把握を触地図によって援助した一盲青年の事例- 金子健・吉武清美 55-60
- ・自閉症児の描画能力の発達 寺山千代子 61-67
- ・学習障害を伴う注意欠陥多動障害児の同胞を持つ1女兒の心理的葛藤と発達危機 篁倫子 69-76

（論説・展望）

- ・カナダ・オンタリオ州の特殊教育にみる教育改革の動向 志村洋 77-85
- ・学習に困難を示す子どものニーズへの対応 緒方明子 87-94

（調査資料）

- ・自閉症に関する研究のアプローチとその推移 -最近10年間（1986-1995）の動向を中心に- 東條吉邦 95-102